

令和8年3月27日(金)

日向市定例記者会見



令和8年3月27日

記者発表事項

発表事項		備考
1	市民と共に育む新たなシティプロモーション	資料1
2	防災デジタルツイン実証実験事業	資料2
3	図書館複合施設整備基本構想の公表 出張ラボ・ラボ「新しい図書館を語る会」のお知らせ	資料3
4	飲食店等食材高騰対策支援事業	資料4
5	DX・生産性向上等設備導入事業	資料5

発表事項1

市民と共に育む

新たなシティプロモーション

市民と共に育む新たなシティプロモーション

2026.3.27

日向市 経済戦略部 ふるさとプロモーション課 プロモーション係

市民・職員ワークショップ

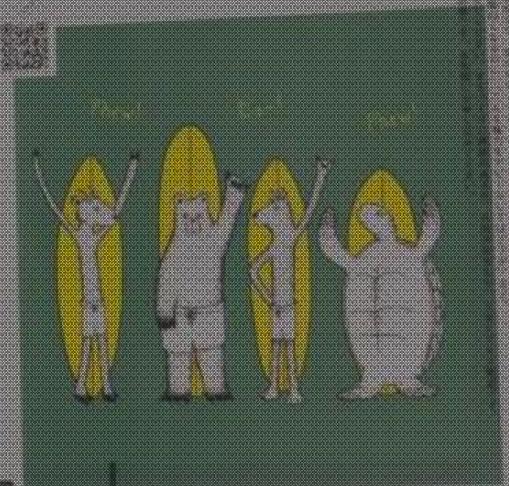
サーフタウンに限らない、
多様多彩な日向の魅力を伝える
新しいプロモーションをスタートします。

そのために今回はまず、
いろいろな世代、いろいろな立場の
市民のみなさまの声を
聞きくことから始めました。

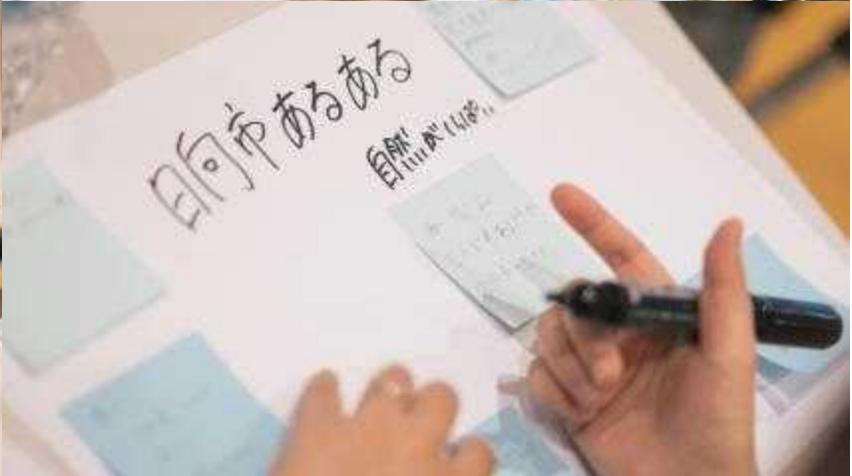
日向市の未来を共に考えるため、
市民のみなさんとワークショップを開催。
まちへの想いを共有し合い、
新たなコンセプトづくりの基盤となる
意見を収集しました。

ご案内 Information

開催日時 2023年9月19日(金) 17時



ヒュー!
市民ワークショップ
参加者募集します!



また、日向市を
よりよくするための業務に
日々たずさわる市役所職員も、
何回もワークショップを重ね、
想いを聞きました。

ご案内 Information

職員ワークショップ

第1回

シティプロローグ



日向のどんなところが好きか。

大切にしたい人や暮らし、未来のために、
どんな日向を受け継いでいきたいか。
どんな日向をつくっていきたいか。

みなさまの声を集めたおかげで、
全く新しい、そして日向らしい
コンセプトが生まれました。

まず、ワークショップで
日向の魅力として多くあがってきたのは、

リラックスできる雄大な自然や食の豊かさ、
コンパクトで暮らしやすい街、
のんびりして思いやりがある人々や
ほっとするつながりのすばらしさ、などでした。

これらの良さを残していきたい、
という意見が多く聞かれました。

一方でそういった日向市のよさを享受し、
心も体も元気に暮らしていくためには、

市民にもっと時間やゆとり、
遊びと仕事のメリハリや、思い思いに集まれる場所、
こどもや若者が遊べる場所、産業のDX化が必要、

といった意見も出ました。

だからこそこれから日向市は、

休める時間や空間をもっと生み出す方向で、
産業もつながりも街も未来も
育てていくのがいいのではないか。

そんな声が多く聞かれ、
新しいコンセプトに集約されていきました。

新コンセプト

新コンセプト

世界でいちばん、休める街へ

The Most Relaxing Town

ヒュー！日向

ステートメント

世界でいちばん、休める街へ

人間がしあわせに暮らすために、いちばん大切なこと。
それは、休みだ。

はたらくことも大切だけど、休むことはもっと大切だ。

こまめに休むから、力がわく。
楽しく休むから、アイデアがわく。
ゆっくり休むから、希望がわく。

だからこそ日向は、毎日にも休日にも、
ヒューっと一息、
リラックスできるいろんな時間をふやしていきたい。

暮らす人も、遊びに来てくれる人も、
だれもが心おきなく休める場所でありたい。

生きていくためにかけがえのない「休み」を
どこよりも見つめて。
ひとりひとりの声に耳をすましながら。

日向市はこれから、
世界でいちばん休みを大切にする街になります。

The Most Relaxing Town

ヒュー！日向

今回のプロモーションの主役は、日向市民。

市民の声を聞き、
市民と共につくり、
市民のみなさまにこそ
理解を深めてもらう。

同時に、市民と一緒に進める
シティプロモーションの発表が
対外的にも新しい価値を持ち、
PRにもなるように設計しています。

これからの時代に大切な提言を、
日向らしさを活かしながら
世界に向けて発信していく。

日向市ならではの資源や風土、
市民の想いや取り組みを活かしながら、
「休み」を日向の財産にしていく。

「休みといえは、日向だよね」

という認識を育てていく

「観光客はもちろん、
市民の心も体も休めることに
全力な街があるらしい」

「いろんな視点から“休み”について考え、
取り組んでいる街があるらしい」

そんな風に国内・国外から視察に来たり

休みを大切にすることが集まり、
休みから毎日を見つめ、
休みから暮らしをよくしていく街へ

日向だからこそ、言えることを。

他の街がまだ、やっていないことを。

施策案

だれもが心おきなく休めるように

日向市は“リラックス産業”を育てていきます！

リラックス 観光

美しい海と山に囲まれた日向には、心洗われる絶景やゆったり巡れる歴史ある風景や土地、とびきりおいしいごはんがあります。暮らす人も訪れる人も、ヒューっと一息つける場所を守り、育てていきます。

リラックス 文化

国民的歌人・若山牧水の故郷として、「牧水・短歌甲子園」を主催するなど短歌文化を大切に受け継いでいます。またサーフカルチャーをはじめとして、心にゆとりを生み出す活動を歓迎しています。

リラックス イベント

日向ひょっとこ夏祭り、日向十五夜祭、細島みなと祭り、サーフィンの国際大会など、日向にはみんなと一緒に楽しめるイベントが盛りだくさん。日常から心を開放して休みを満喫できるように、力を合わせています。

リラックス 物産

海と山の幸、体も心もよろこぶ特産品が日向にはあふれています。日向市発祥の柑橘「へべす」にフルーツ、岩牡蠣にうなぎに鮎、宮崎牛に日向若鶏に豚、はまぐり碁石など。たくさんの方の安らぎを全国にもお届けします。

リラックス 移住

仕事や子育てをもっとゆっくり楽しみたい方に向けて、豊かな自然とコンパクトで便利な街の暮らしのどちらもある日向への移住検討をサポート。毎日の中に、休みとゆとりがある暮らしを応援していきます。

そして、休むための取り組みや仕組みも広げていきます。

例えば…

- ・休日を楽しむイベント企画&開催
- ・どこよりも休めるビーチづくり
- ・休みのアクティビティの充実
- ・市民とつくる、日向リラックススポットMAP
- ・一次産業の効率化で休む時間を増やす
- ・休ませてくれる人とのマッチング（特技と特技の交換）
- ・リラックス物産の充実（休日の贅沢ごはん/心と体が休まる食材/リラックス旅ご招待）

⋮

日向市民がもっともっと休めるための施策を検討します。

例えば、市民と一緒に楽しくリラックスできるイベントを開催します。



市民のみなさんとの共創を目指して

プロモーションのキャラクター
ヒューくん&ガーちゃんを描いてくれている
国際的なイラストレータージョナスさんと、
ずっと残る大きな絵を
大人もこどもも一緒に自由にワイワイ描く、
などみんなが休日にリラックスして
楽しめるイベントを企画中です。

例えば、お倉ヶ浜ビーチを楽しめるにぎわいの拠点をつくります



「お倉ヶ浜ビーチ」に、
若者からシニア、こども連れの家族、
そして県外や海外からの観光客など、
多様な世代、多様な人が安心して楽しめて、
心おきなくリラックスできる、
にぎわいの拠点をつくります。

例えば、休むことに全力のまちとして「保育園留学」を始めます



豊かな子育ての選択肢として、
保育園留学を提案します。
恵まれた自然の中で全力で
休みを楽しめるまち「日向」に
都市部の親子が滞在できる
プログラムをスタート。

日向ならではのリラックス体験で、
子育て世代を応援します。

日向市シティプロモーション

具体的な取り組み

これまでの取り組み

2016年から
“リラックスサーフタウン”を掲げながら、
ヒュー！と歓声を上げるような
ヒュー！と一息つけるような
日向の数々の魅力を
プロモーションしてきました。

「ヒュー！日向」ロゴマーク・キャラクターの策定および展開

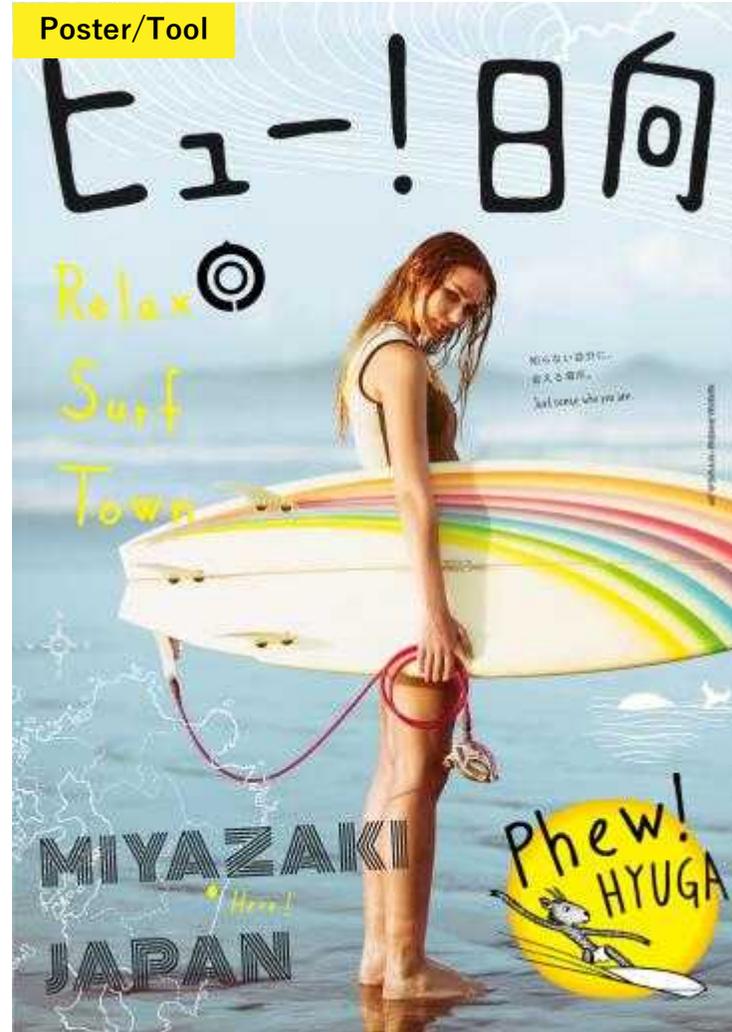
Logo



Character



Poster/Tool



Web



「ヒュー！日向」PR動画

2016



失恋した青年が日向市でサーフィンと出会い、心身ともに成長していく物語。多くのメディアに取り上げられるなど話題に。視聴回数は増え続け、2025年11月末現在、117万回再生。

ACCシルバー

2017



第一弾で制作を担当していた西澤さんが出演者のサーファー役の松本さんと恋に落ち、なんと結婚＆移住することに！サーフィンの聖地・お倉ヶ浜での市民総出のサプライズウェディングパーティを開催。

ACCファイナリスト

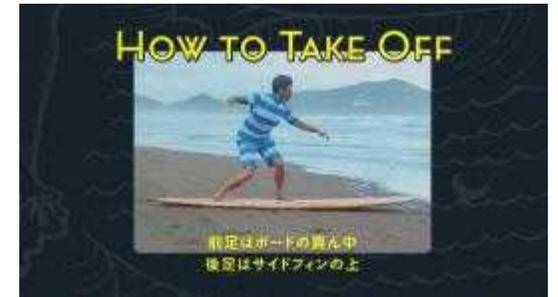
2018



都会に住むお疲れぎみの「おじさん」にフォーカス。オーディションで選ばれた3名のおじさんが日向市を訪れ、サーフィンにチャレンジ、市民と触れ合い自分を見つめ直す。

ふるさと動画大賞 大賞
観光映像大賞グランプリ 観光映像大賞

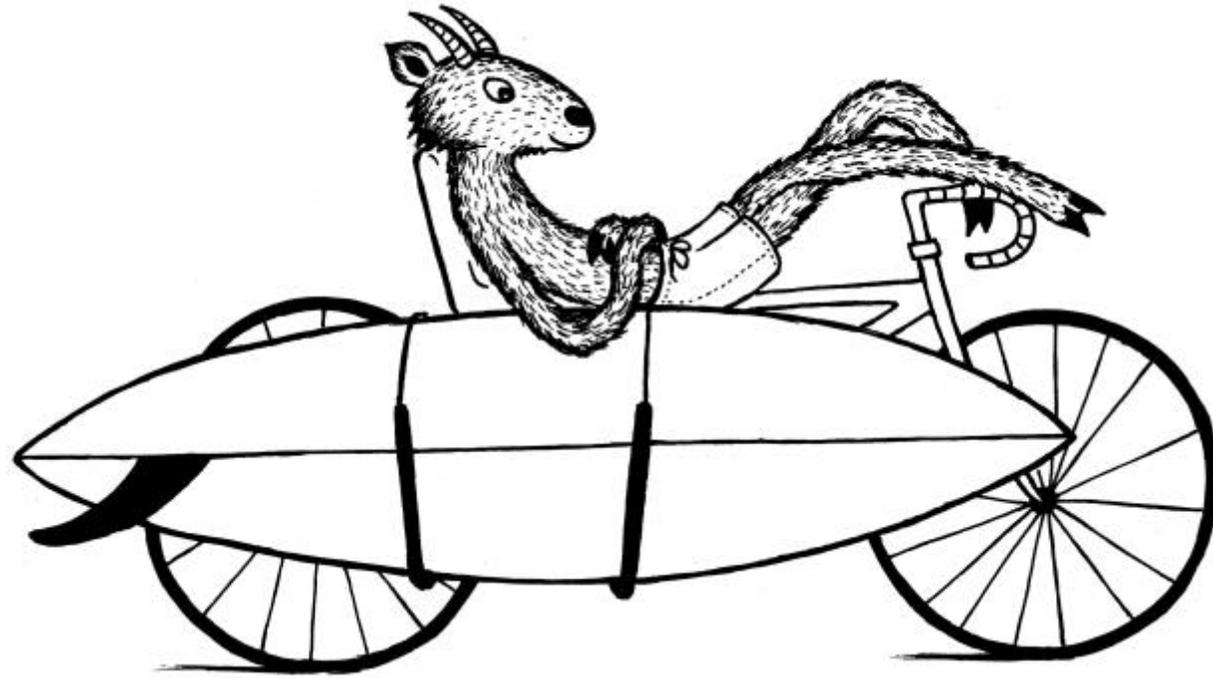
2019



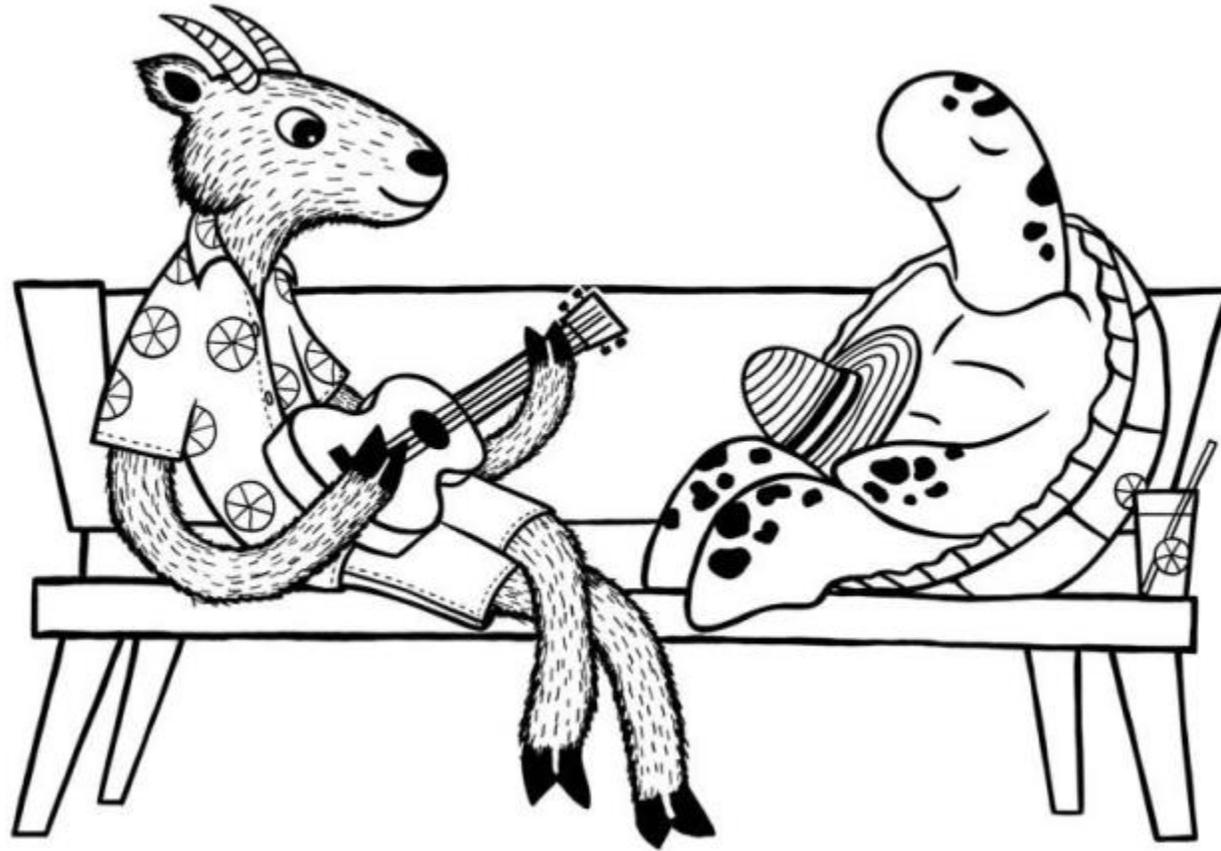
プロモーション最後の4年目は「ダイバーシティ」を訴求すべく、おばあちゃんサーファーの登場。誰もがサーフィンを楽しむことができるためのHOW to動画を制作。

これらの積み重ねてきた資産も
大切に受け継ぎながら、
新しいプロモーションに
発展させていきます。

キャラクターについて



2016年から「ヒュー！日向」プロモーションのキャラクターである「ヒューくん」。
日向の尾鈴の山で育ち、海に憧れてサーフィンを楽しむヒューくんは、
国指定の特別天然記念物でもあるニホンカモシカがモデルになっています。
愛されてきた実績と共に新しいプロモーションでも継続起用とします。



さらに今回のプロモーションから、
市民になじみのある「アカウメガミ」をメインキャラクター「ガーちゃん」と命名し、
ヒューくん&ガーちゃん（合わせてヒュウガ）として、活躍してもらいます。



日向で生まれ育ったアカウミガメは、大海原に出て、また日向に戻ってくることから、「日向で育った子どもたちが、いろんな経験を重ね、ふたたびふるさとで暮らしてほしい」という想いを込めています。また、亀には「ゆっくり」「のんびり」といったイメージがあり、「休みを大切にしていこう」、という今回のメッセージにもピッタリです。

新ロゴマーク

レジャーランド

THE MOST RELAXING TOWN



THE MOST RELAXING TOWN



THE MOST RELAXING TOWN

Phew!
ビューー!
日向



THE MOST RELAXING TOWN



コンセプトムービー

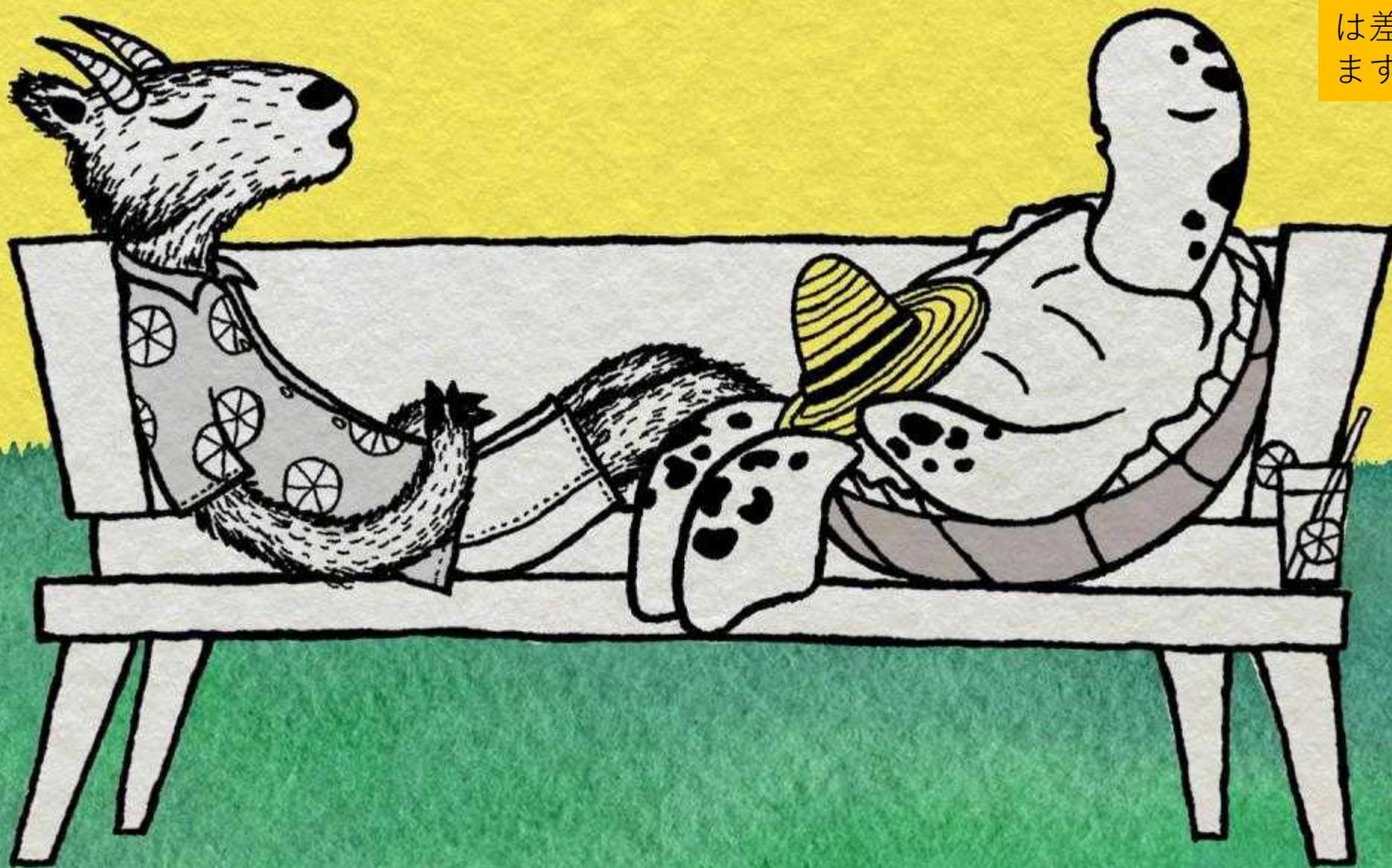
なぜ、世界でいちばん休める街を目指すのか。
日向市の想いを伝えるとともに

新しいキャラクター・ヒューちゃんとガーちゃんのお披露目の場でもあります

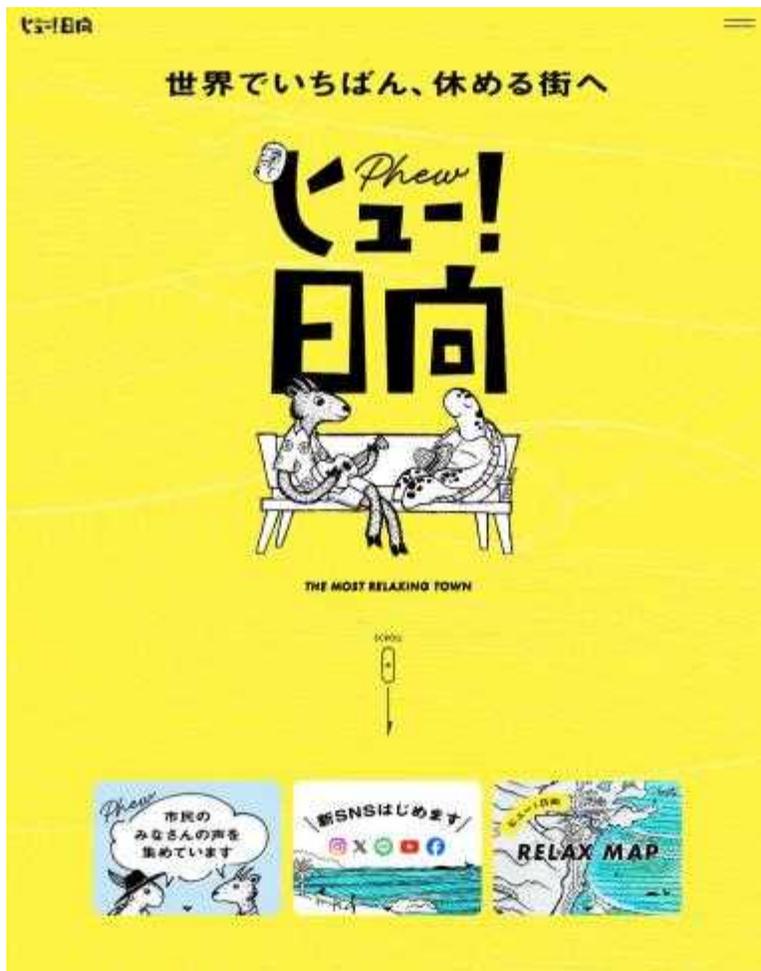
日向市ならではのいろいろな休みの楽しみ方の紹介にもなっているムービーです。

ぜひごらんください。

3/15時点の
もの。最終
は差し替え
ます。



WEBサイト リニューアル



ヒュー！日向 SNS

LINEプロフィール



Instagramプロフィール



Instagram投稿画面



Xプロフィール画面

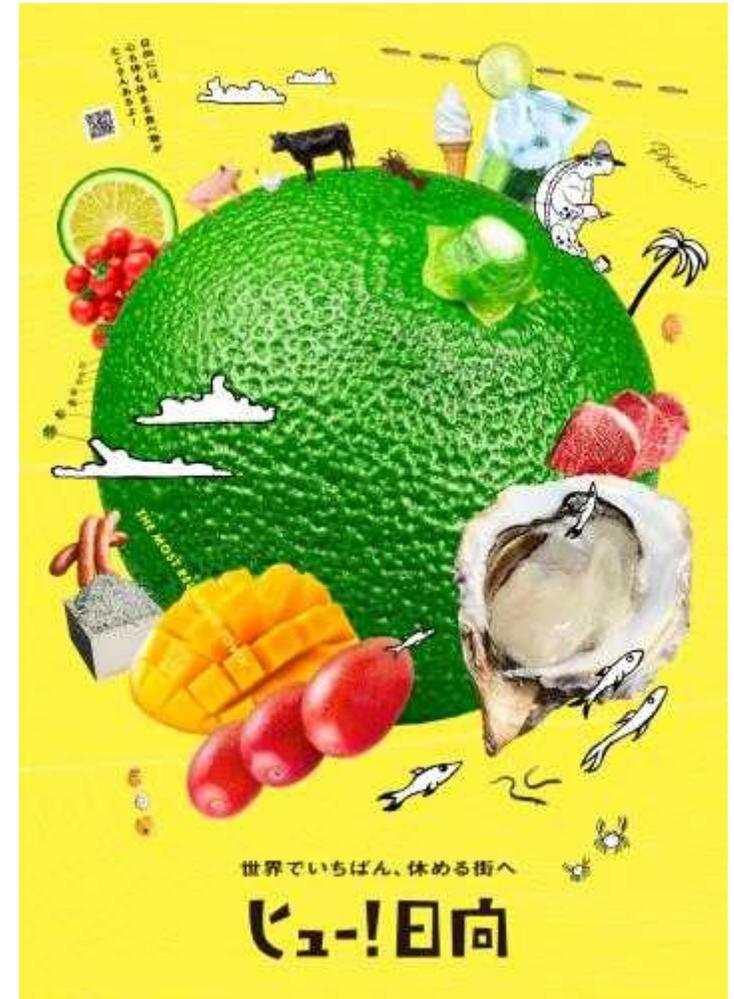
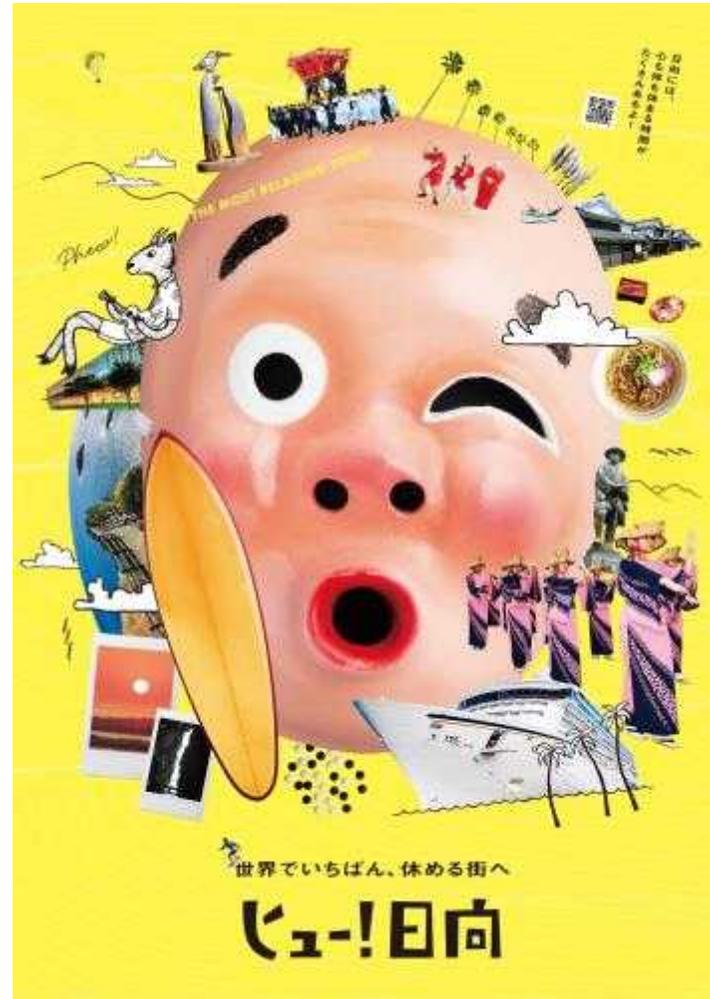


LINEトーク 投稿画面



グッズ・ツール

B2ポスター



ノベルティグッズ

ステッカー



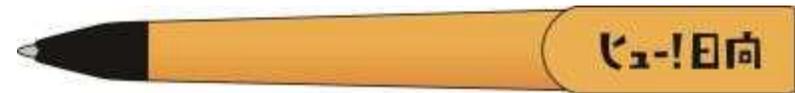
缶バッチ



ウェット
ティッシュ



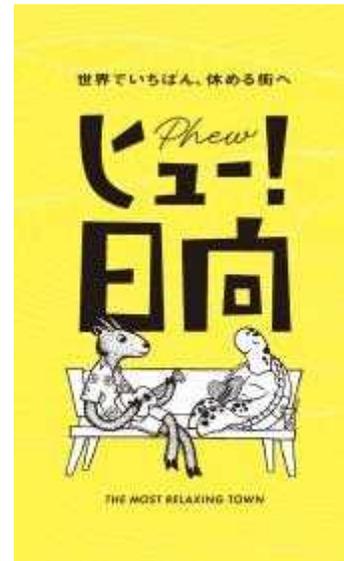
ペン



のぼり



名刺



PC壁紙



クリアファイル



日向らしさとは何か？
未来に残していききたいことはなにか？
市民のみなさまの声を集めた時に
日向だけではなく、
これからの時代を生きる人たちにとって
大切なコンセプトが生まれました。

休みについて考えることは、
人間の幸せについて考えること。

休みにはたくさんのヒントが、
未来へのアイデアが、産業のチャンスが、
つまっていると思います。

誰にとっても大切な“休み”について、
市民のみなさまとともに考え続けることで、
暮らしを、未来を、よりよいものにしていきます。

発表事項2

地域課題解決へのDX推進

防災デジタルツイン実証実験事業

ソフトバンク・東北大学・日向市

防災デジタルツイン実証実験事業



防災デジタルツイン実証実験事業

現実世界の地形、建物、人流の情報をサイバー空間に再現し、災害対策に役立てる防災デジタルツインを活用した「次世代防災実証実験」。

今回のテーマは「**地震(津波)災害を想定した次世代防災実証実験**」。

本市は、南海トラフ地震などによる津波リスクが高く、発災直後の迅速な状況把握と避難誘導が重要であることから、津波災害デジタルツインと自律ドローンの実証実験を行い、防災力の強化に取り組み、結果をもとに日向市防災モデルの確立を目指します。

➤ 開催概要(案)

日時：令和9年1月31日(日)8時00分～12時00分

会場：お倉ヶ浜総合公園周辺

テーマ：「**地震(津波)災害を想定した次世代防災実証実験**」
令和8年度の市総合防災訓練において津波災害デジタルツインとAI(人工知能)技術を用いた遠隔制御ドローンを使用し避難支援実証実験を行います。



地域課題解決に向けた 防災デジタルツイン実証実験事業について

日向市・東北大学・ソフトバンク

2026年3月27日
ソフトバンク株式会社

Hywuga



地域課題解決に向けた共同実行プロジェクト

市民の生活や産業基盤を支えて日向市のレジリエンスを強化

①防災デジタルツイン



AIの予測技術と
ドローンを駆使

②スタートアップ育成



市内企業と
スタートアップ戦略

③生成AI教育



検討中

AIを活用した
プログラミング育成

④グリーンエネルギー



検討中

バイオバス事業や
脱炭素事業との連携

⑤自動運転



検討中

観光・物流データを活
用

日向市内のフィールド

ソフトバンクRegional Brain活用※も視野に取り組んでいく

先行で取組む実証事業

地域課題の緊急度が高い津波防災について先行で事業着手

① 防災デジタルツイン



AIの予測技術と
ドローンを駆使

② スタートアップ育成



市内企業と
スタートアップ戦略

③ 生成AI教育



検討中

AIを活用した
プログラミング育成

④ グリーンエネルギー



検討中

バイオバス事業や
脱炭素事業との連携

⑤ 自動運転



検討中

観光・物流データを活用

日向市内のフィールド

ソフトバンクRegional Brain活用※も視野に取り組んでいく

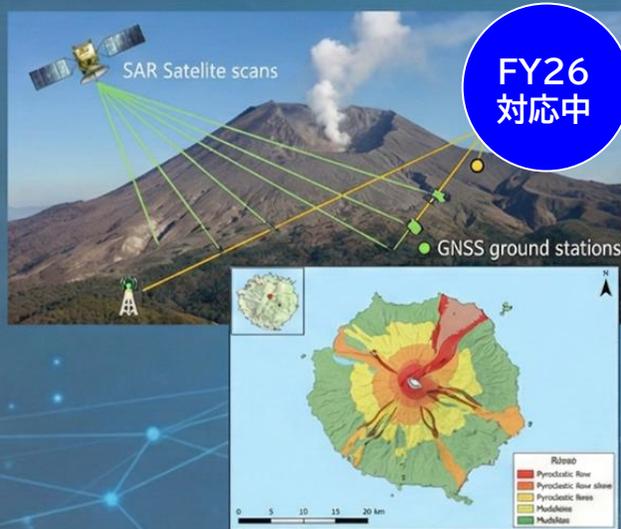
防災デジタルツインに関する弊社取り組み事例

火山・風水害・津波などの防災ユースケースに対し事業展開を推進中

地理空間情報の可視化,意思決定支援機能開発

災害シミュレーション機能開発

東京都 (火山監視DX)



FY26
対応中

東京都 (火山監視DX)

SAR衛星やGNSSを用いた
噴火予兆検知と土石流リスク評価

内閣府「鳥の目プロジェクト」(風水害)



FY26~
実証予定

内閣府「鳥の目プロジェクト」(風水害)

衛星×ドローン×IoTによる
被害早期把握

宮崎県日向市 (津波避難支援)



本事業

宮崎県日向市 (津波避難支援)

津波災害デジタルツインとAIドローンを
連携させた避難支援実証

防災DXやインフラ監視DXに関するコンセプト

フェーズフリーな次世代デジタル社会インフラの構築を目指す



防災(津波災害)デジタルツイン実証実験概要

目的

防災(津波災害)デジタルツインと防災ドローンによる避難誘導の有効性検証

実証フィールド

お倉ヶ浜(塩見川～赤岩川間)、お倉ヶ浜総合公園、切島山2区避難山
きりしまやま

地震発生

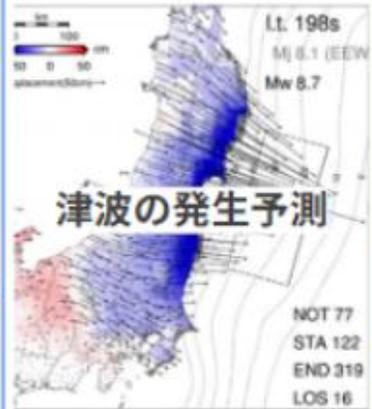
南海トラフ級を想定※



※津波到達時間 20分想定

津波浸水・被害予測

TsunamiCast



津波シミュレーション

RTI-cast

被害予測確認

統合データプラットフォーム



避難誘導指示

GeoSense AI



※防災訓練では仮想本部の予定

避難誘導

防災ドローン※



一次避難完了

避難山に避難



参考URL① : https://www.rti-cast.co.jp/technology/real-time_tsunami_prediction_technology/

参考URL② : <https://www.hyugacity.jp/sp/tempimg/20190402112037.pdf>

実証実験の概要スケジュール

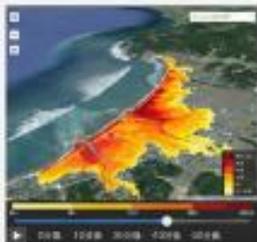
まずは短期フェーズで実用に向けた実証事業を行い
Regional Brain活用や国プロジェクト公募も視野に長期的に活用予定

FY26：短期フェーズ

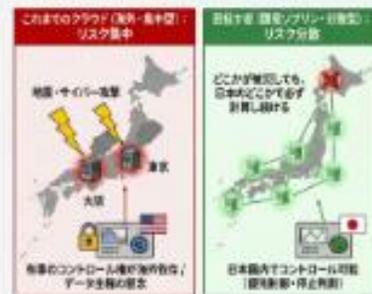
FY27-：中期フェーズ

実証
スコープ

津波sim×AIエージェント×ドローン
による海岸避難誘導訓練



分散DCを活用した災害simの技術実証
自律防災ドローン実証（避難、物資支援）

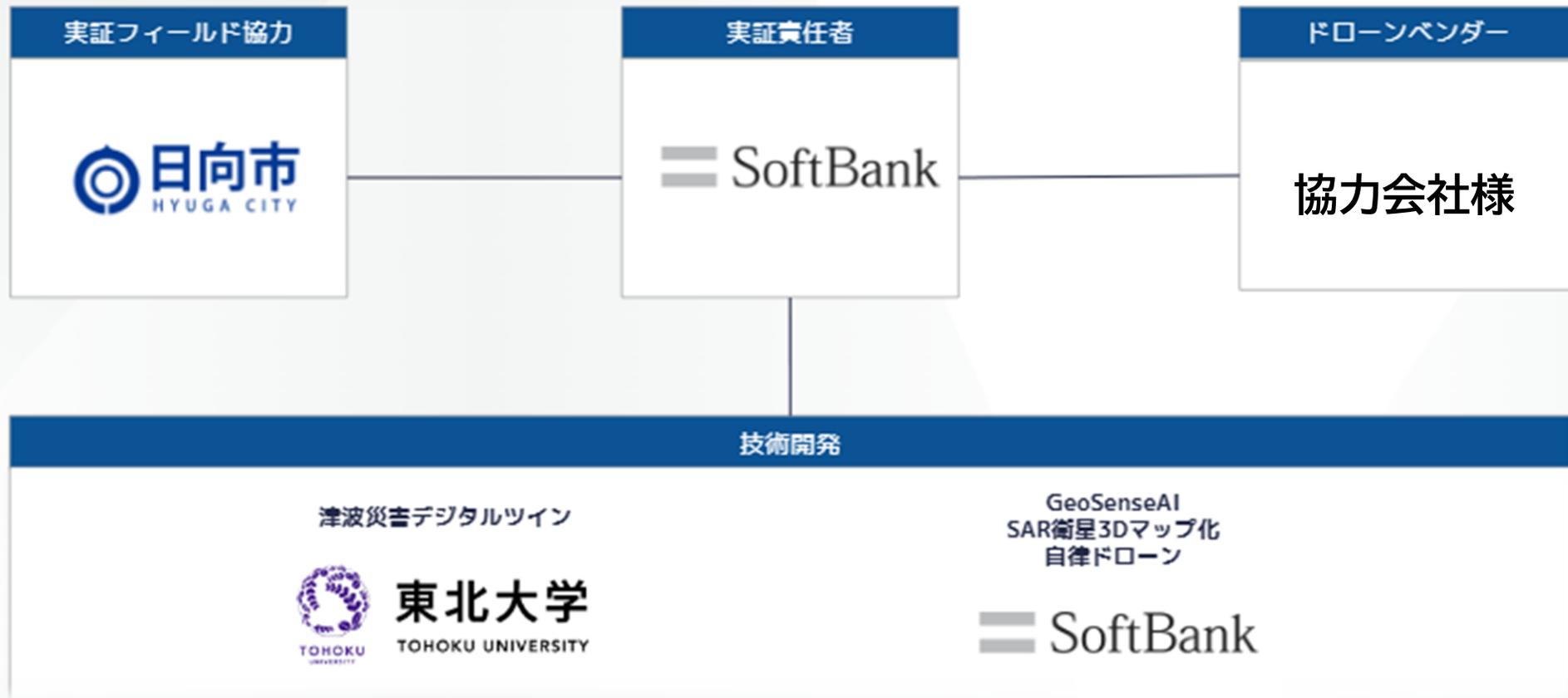


双方で費用を負担

国の交付金を活用予定

実証実験の実行体制

日向市様と東北大学様にも全面ご協力いただき
ソフトバンクにて本プロジェクトを牽引



東北大学様ご紹介(遠隔参加にてご説明)

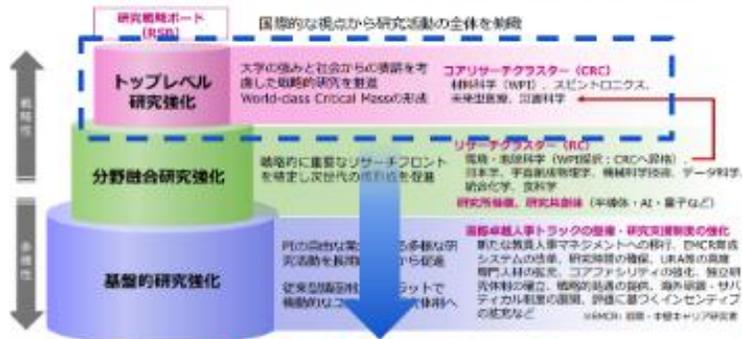
日本初の「国際卓越研究大学」に認定・認可

越村教授との協業を起点にシミュレーション技術を拡張

東北大学

大学全体の評価 THE世界大学ランキング
2025 日本国内
イギリスの高等教育専門誌
「Times Higher Education」

第1位



「国際卓越研究大学」とは、世界トップレベルの研究を行い、その成果を社会や経済に還元できる大学を国が認定する新しい制度

災害科学国際研究所



第3回国連防災世界会議の
成果文書である
「仙台防災枠組2015-2030」
に貢献
※2030年までの国際的な防災の取り組み指針



越村 俊一 教授



- ・東北大学
災害科学国際研究所 所長
災害レジリエンス共創センター副センター長
言語AI研究センター 教授
グリーン未来創造機構 宇宙ビジネスフロンティアセンター 教授
 - ・神戸大学 大学院海事科学研究科 国際海事研究センター リサーチフェロー
 - ・株式会社RTi-cast ファウンダー、CTO (発起人)
気象庁から民事業者初の津波予報業務許可を取得
 - ・国立研究開発法人理化学研究所 客員研究員
- ※その他、国内外の多数の委員会に参加

津波災害デジタルツインについて

気象庁の予報業務許可を得た災害予測サービス



Real-time Tsunami Information Cast

リアルタイム津波浸水・被害予測情報サービス

TsunamiCast

地震発生直後にリアルタイムに解析を行い
20分以内^{※3}に浸水被害の予測情報を提供

- 防潮堤などの実際の構造物を反映した予測
- 浸水範囲、浸水深、浸水開始時間、建物被害などを予測
- 地図と重ね合わせた判り易いWebインタフェース



世界最先端のフォワード型リアルタイム津波浸水・被害予測
民間事業者初、津波の予報業務許可を取得^{※1}
HPCによるリアルタイム解析の特許取得^{※2}

※1 許可第240号、津波の予報業務許可、March 27.2024
※2 特許第6161130号、津波浸水予測システム、制御装置、津波浸水予測の提供方法及びプログラム、June 23.2017

各種地震情報から断層設定



スーパーコンピュータによる津波解析・被害推定



可視化、自動配信



20分以内

地震津波常時監視
24h365d



地震発生



システム自動起動



これまでの取り組み、導入実績

- 2014年12月 総務省G空間シミュレーション構築事業による実証（リアルタイム津波予測技術と準天頂衛星を利用した配信の実証）
- 2015年12月 総務省G空間防災システム連携推進事業による実証（Lアラートへのリアルタイム浸水予測配信実証）
- 2017年11月 内閣府「津波浸水被害推計システム」を導入^{※4}
- 2024年4月 民間事業者初の津波予報業務許可を取得・運用

数千キロに及ぶ広域津波災害像を、きめ細やかな解像度で、陸域の浸水被害まで即時推定

スーパーコンピュータ SX-Aurora TSUBASA



津波の発生伝播



津波の陸上遡上



※3 概ね1県分の範囲を10m解像度で6時間予測を行う場合の時間となります。
予測結果の提供までの時間は、起動条件、予測時間、メッシュ解像度、予測範囲および予測情報の種類に依存します。
※4 本技術は、内閣府の総合防災情報システムに採用されています。FY2025にて日本全国を対象予定（瀬戸内海を除く）

■TunamiCast提供会社

RTi-castの紹介とミッション



民間初！津波予報業務 認可取得

大学発スタートアップとして、民間初の津波予報認可を取得し、技術の社会実装を進めています。

- 東北大学発のスタートアップ企業「RTi-cast」
- 民間事業者として国内初の津波予報業務の許可を取得
- 津波予測技術を「災害デジタルツイン」として社会実装
- 研究開発ミッション：予測技術の高度化とサービス展開

ご清聴ありがとうございました

発表事項3

図書館複合施設整備基本構想の公表
出張ラボ・ラボ「新しい図書館を語る会」のお知らせ

図書館複合施設整備基本構想の公表 および市民説明会のお知らせ

資料 3

情報提供日
令和8年3月27日

基本構想<表紙写真>



基本構想<目次>

はじめに

第1章 基本的な事項

第2章 市民との共創とニーズの把握

第3章 図書館複合施設の基本理念・コンセプト

第4章 図書館複合施設に設ける環境

第5章 図書館複合施設の基本機能

第6章 候補地の選定

第7章 施設の規模と概算事業費

第8章 事業手法について

第9章 今後の進め方

市民共創の取組

新しい図書館を語る会 | 12回

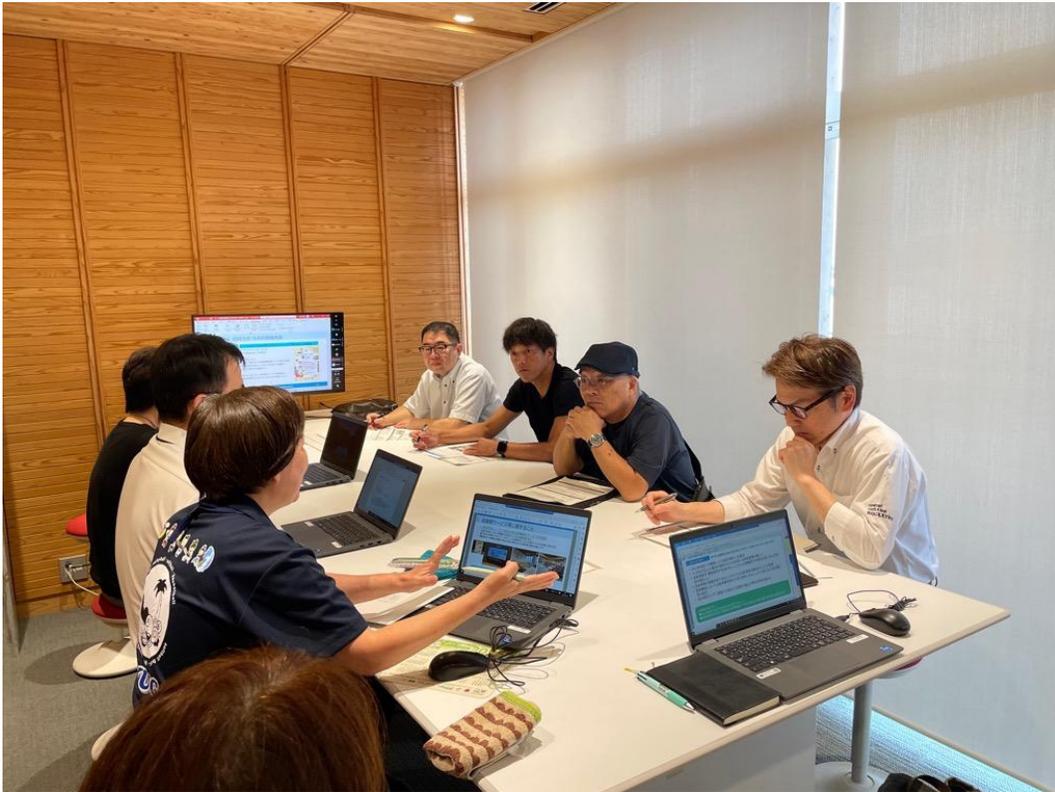
新しい施設に期待すること等について、図書館関係者、保育所・幼稚園関係者、文化団体等、様々な関係団体と意見交換。

サウンディング型市場調査 | 9者

新しい施設の機能や公民連携に関するアイデア等について、申し込みのあった地元事業者と意見交換。

図書館アンケート | 225件

図書館利用者を対象に、現在の図書館の改善点や新しい施設に求めるサービス等に関するアンケートを実施。



市民共創の取組

日向ラボ・ラボ | 7回

日向ラボ・ラボとは、市民の皆さんと新しい図書館複合施設の整備を目指す市民参画型の共創プロジェクトです。「市民がやってみたいこと」を実証実験する場として全7回開催し、延べ1,953人の方にご参加いただきました。

第1回	北欧型図書館に関する講演。理想の図書館に関するアイデア100個を提案するワークショップ。
第2回	屋内遊び場や移動図書館、読み聞かせ、育児相談など親子向けイベントを実施。
第3回	中高生が行きたくなるカフェづくりをテーマとした体験型ワークショップ。
第4回	若者の居場所づくりに関する講演。「若者が来たくなる図書館」をテーマとしたワークショップ。
第5回	新潟県小千谷市ひと・まち・文化共創拠点「ホントカ。」の事例学習。職員や市民との意見交換。
第6回	図書館とまちのにぎわいをテーマに施設完成までにやりたい企画のロードマップ作成。
第7回	図書館への愛着を深めるための本箱づくりワークショップ。

HYUGA LABO LABO **日向ラボ・ラボってなに?**
みんなで創る新しい図書館

What's HYUGA LABO LABO?
日向ラボ・ラボは市民の皆さんと新しい図書館複合施設の整備を目指す市民参画型の共創プロジェクトです。

新しい図書館の整備に向けて
市民のみんなが**やってみたいこと**を共に試して創っていく場所

新しい図書館の使い方を話しながら**実証実験**する場所

HYUGA LABO
対話の手法であるリビングラボ (LIVING LAB) と、実証・検証を意味するラボラトリー (LABORATORY) の「ラボ」を組み合わせて日向ラボ・ラボです。

令和7(2025)年度の日向ラボ・ラボの取組 **延べ1,953人参加!!**

第1回 R7.7/5開催 「新しい図書館ってどんな場所になったら素敵だろう?」を話そう 参加者/111人	第2回 R7.8/8~10開催 移動図書館とこどもの遊び場をやってみよう 参加者/1,686人	第3回 R7.9/27開催 ものづくり体験ワークショップをやってみよう 参加者/29人	第4回 R7.11/29開催 子ども・若者の居場所づくりについて考えてみよう 参加者/50人	第5回 R7.12/14開催 新潟県小千谷市の新しい図書館のことを聞いてみよう 参加者/14人	第6回 R8.1/24開催 新しい図書館の完成までにやってみたいことを考えてみよう 参加者/24人	第7回 R8.2/14開催 図書館の本箱に自分のデザインを刻印してみよう 参加者/39人
---------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------	------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------

市民のみんなが新しい図書館に期待すること&やってみたいこと

- いろいろなワークショップに参加してみたい
- 休日にとりあえず行きたくなる図書館がいい
- 子どもや若者が賑やかに過ごせる場所にしたい
- 短歌や俳句、絵画などの作品展示があると楽しい
- カフェがあって軽食もできる図書館がいいな
- フリースペースで友達と勉強したい
- 子どもが楽しめる遊び場を併設してほしい
- 学びやリスキングに活用できるといいかも
- 子育て中に、ほっと一息つけるスペースが欲しい

お問い合わせ 総合政策課 ☎66-1001

基本構想の概要

基本理念 | 基本方針で決定(令和6年3月)

学びの種をまき 創造の芽を育て 希望の実を結ぶ
市民のサードプレイス

学びの種をまき：学びの機会やきっかけを提供し、知識の基礎を築く
創造の芽を育て：創造性やアイデアを育む
希望の実を結ぶ：個人や地域の未来への希望や発展につながる
市民のサードプレイス：誰もが快適に安心して過ごせる

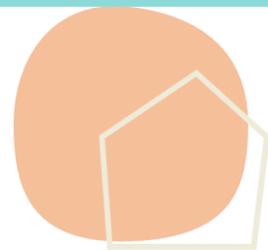


市民のサードプレイス

コンセプト | 市民が集まるひなたリビング

「市民が集まるひなたリビング」
～みんなの学びと創造、未来を育む自由な居場所～

「ひなたリビング」は、本を読む、創造活動に励む、学び交流する、心地よくくつろぐなど、誰もが思い思いに過ごせる第三の居場所です。新しいことへの挑戦、人や本の出会いを通じて自分の可能性を広げ、地域や仲間とのつながりが生まれます。この施設が、市民の日常に安心と発見をもたらし、多様な世代が集い、学びや交流を重ねながら、まちの未来を共に育む拠点となることを目指します。



市民が集まる ひなたリビング

～みんなの学びと創造、未来を育む自由な居場所～



基本構想の概要

機能・想定面積 | 6,250㎡

機能	想定面積
図書館	2,500㎡
子育て支援	1,250㎡
生涯学習・市民活動支援	1,250㎡
カフェ・交流・くつろぐ空間など	1,250㎡

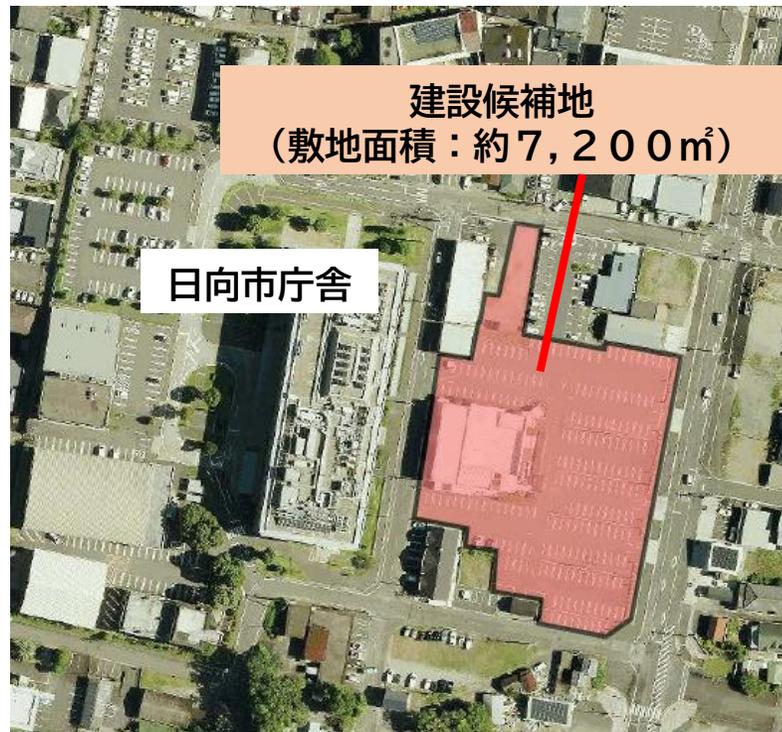
現在の図書館、市民活動支援センター、東郷地区文化センター（ホール機能）は機能に移転し、跡地利用は今後検討します。中央公民館は機能に移転後、取り壊しを予定しています。

機能構成イメージ



候補地 | 市庁舎東側隣接地

市有地等の比較検討を行い、市庁舎東側隣接地を候補地として決定。



概算事業費 | 88億円

設計等、建設費等、用地・解体費等の合計で88億円を想定。

基本構想の概要

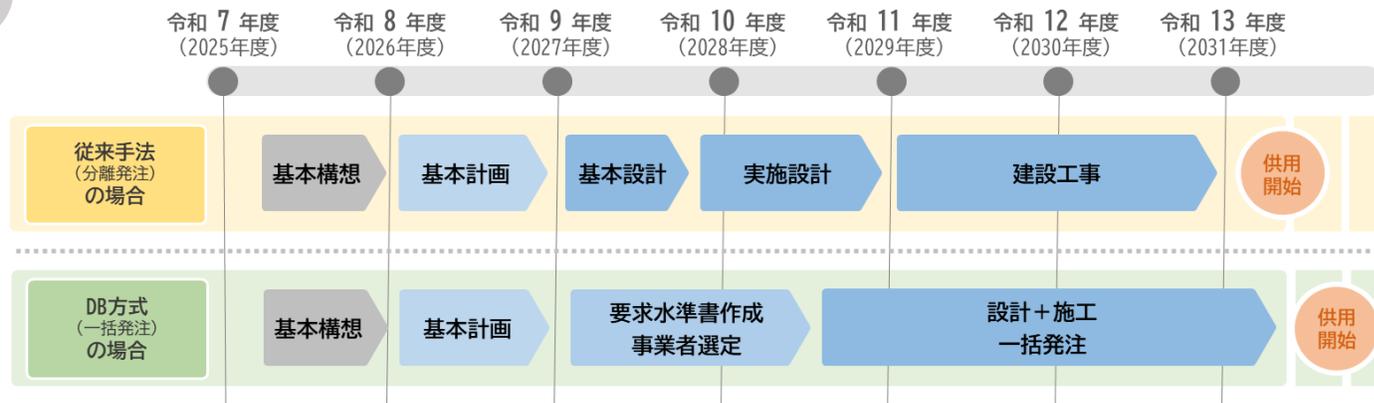
事業手法 | 従来型手法／DB方式で検討

- 従来型手法またはDB方式のいずれかの手法を基本計画の中で決定。
- 維持管理・運営については直営または指定管理者制度の導入を検討。

従来型手法		設計、施工、維持管理・運営を別々に発注する方式。
PPP手法	DB方式	設計、施工を一括して発注する方式。
	DBO方式	設計、施工、維持管理・運営を一括して発注する方式。
PFI手法【BTO方式】		設計、施工、維持管理・運営を一括して発注する方式。資金調達は民間が行う。

スケジュール | 令和13年度供用開始

- 令和8年度 基本計画策定
- 令和9年度以降 整備着手
- 令和13年度 供用開始を目指す



※ 機能・想定面積、概算事業費、スケジュールは基本計画や設計段階で今後、精査していきます。

出張ラボ・ラボ「新しい図書館を語る会」の開催

市民共創の取組である日向ラボ・ラボの一貫として、新しい図書館複合施設のコンセプトや機能・規模についてまとめた「日向市図書館複合施設整備基本構想」について、市民の皆さんと語る会(説明会)を市内7箇所で開催します。

➤ 対象者等

【対象者】

- ・市内に在住または市内に通勤、通学する方

【申込】

- ・事前申込は不要

【語る会の内容】

- ・基本構想の説明(※各回同じ内容です)
- ・質疑応答、意見交換

【資料】

- ・当日、会場にて配布し、後日、市ホームページへ掲載

➤ 開催日時・会場

日時	会場
5/22(金)	大王谷コミュニティセンター
5/23(土)	市庁舎1階市民ホール
5/25(月)	財光寺まちづくり事務所
5/26(火)	日向ひとものづくりセンター
5/27(水)	南日向公民館
5/28(木)	美々津公民館
5/29(金)	東郷公民館

各回19時00分～20時00分 開催

※5/23(土)のみ14時00分～15時00分 開催

発表事項4

飲食店等食材高騰対策支援事業

資料 4

情報提供日
令和8年3月27日

飲食店等食材高騰対策支援事業

【事業概要】

食材価格等の高騰により、多大な影響を受けている、市内の飲食店や菓子製造業者等に対して10万円の支援補助金を給付し、経営の安定と地域経済の活性化を図るものです。(国の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用)

【事業の目的】

新鮮な海産物や農産物など、豊富な食材を活かして食事を提供する飲食店や、食材を加工して提供する菓子製造業、そうざい製造業などの市内事業者に給付金を支給します。この支援により、市内飲食店の食材価格の高騰による経営への影響を軽減し、事業の継続を後押しします。さらに、地域の食文化を維持することで、観光産業や地域経済の活性化にもつながることを目指しています。

【受付期間】

令和8年6月1日(月)から令和8年7月31日(金)

【対象者】 以下のすべての要件に該当する事業者

- 対象業種は以下の業種であること
飲食店営業(食事の提供を主とする店舗)
※バー、スナックなどは対象外
菓子製造業 そうざい製造業 約600店舗
- 事業の拠点及び本社が日向市内にあること
(個人事業主の場合は日向市に住民登録があること)
- 食品関係の営業許可を受けた上記の業種であること
- 一定の事業規模の実績を有していること
- 令和8年3月31日までに開業し、交付申請時点で事業を継続していること
- 今後5年間、日向市内で事業を継続する意思があること
※大企業およびみなし大企業は対象外



Hyuga_AIにて生成

発表事項5

DX・生産性向上等設備導入事業

DX・生産性向上等設備導入事業

【事業概要】

日向市内に本社及び主たる事業所を置く中小企業・小規模企業者等が、DX(デジタルトランスフォーメーション)推進や生産性向上を目的とした設備導入を行うなどの、従業員の賃上げにつながる経費の一部を補助します。
(国の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用)

【事業の目的】

原油・原材料価格高騰の影響を受けている日向市内の中小企業・小規模企業者等が、DX推進や省力化・自動化等の設備導入により生産性を向上させることで、人材不足の解消や従業員の賃上げが可能となる環境を整備し、地域経済の持続的成長につなげることを目的としています。



【補助対象者・補助の内容・設備導入(例)】

【補助対象者】

- 主たる事業の拠点及び本店が日向市内にあり、賃金改善に取り組んでいる中小企業・小規模企業・個人事業主
- 今後5年間、日向市内で事業を継続すること
- 補助対象者は、公募(R8年5月～7月予定)により選定する

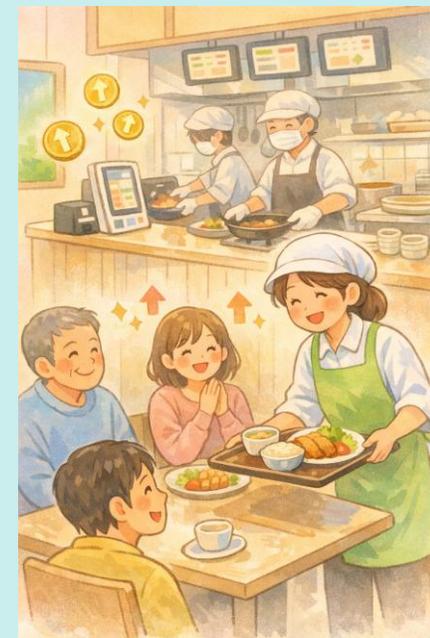
【補助の内容】

予算額:3,000万円

- 補助率 3分の2以内
- 補助上限額 1,000万円(ただし、万円未満切り捨て)
(詳細については日向市ホームページにて公開)

【設備導入(例)】

- 製造現場における自動化設備の導入
- 物流現場における物流システム機器の導入 等



Hyuga_AIにて生成

令和8年3月27日(金)

日向市定例記者会見